

# 伊那谷リニアバレーNEWS

～長野県にリニアがやってくる！～

VOL.5 令和4年 10月4日発行  
長野県 建設部 リニア整備推進局

TEL:026-235-7016

FAX:026-235-7482

E-MAIL:linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp

## ■リニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会を開催し、決議内容をJR 東海へ要請しました！

令和4年7月11日(月)、飯田市エス・バードホールにて、今年度の総会を開催しました。総会では、「度重なる労働災害について、現場と一体になった安全管理を行い、再発防止及び積極的な公表に努めること」、「建設工事に対する住民の理解が得られるよう、地元市町村との連携を密にしながら十分かつ丁寧な説明を行い、工事の進捗や発生土置き場の安全対策などの情報共有及び透明性の確保に努め、



事業者としての説明を果たすこと」など9項目を決議。新型コロナウイルス感染状況を考慮し、8月2日にオンラインでJR 東海に要請いたしました。

URL: <https://www.pref.nagano.lg.jp/linear-shin/kurashi/kotsu/linear/kyogikai/21naganokenkyougikai.html>

## ■「リニアの駅って、どーなるの？」リニア駅周辺整備の検討状況を動画で知ろう！

飯田市は、リニア駅前空間の設計方針と全体計画の考え方を取りまとめた「飯田・リニア駅前空間デザインノート」の具現化に向けて重ねてきた検討の状況を、5月28日、7月16日の2回の報告会でお知らせをし、その報告に対して寄せられた意見を踏まえ、意見交換会を9月17日に開催しました。

第1回報告会では、駅前空間「結いの広場」の整備のコンセプトと、駅からの二次交通などの基本的な考え方が示され、第2回では、利用者の動線や将来にわたり活用できる空間としての機能などの説明とともに、結いの広場の全体的なイメージが新たに紹介されました。意見交換会では、これまでに寄せられた意見や質問をテーマとしたトークセッションとともに、地域の魅力発信を実践している方々を交えた座談会を行っています。

これらはYouTubeで動画配信されていますので、ぜひご覧ください。引き続き、皆様からのご意見をお待ちしています。

**リニア駅ができるまち飯田 リニアの駅って、どーなるの？**



**リニア駅周辺整備事業の検討状況報告会  
(全2回)と9月17日の意見交換会は、  
YouTube飯田市チャンネルで配信中。**

飯田市ウェブサイトの動画紹介ページへ  
ID検索または二次元コードからどうぞ。

ID 20222019 🔍 検索



## ■ AI を活用した新交通システムが地域交通を支えています！～茅野市の取組～

茅野市では、AI オンデマンド交通「のらざあ」※の運行が始まっています。「のらざあ」は、利用者の予約に対して、AI による最適な運行ルート、配車をリアルタイムに行う乗合輸送サービスであり、移動距離に応じて料金変動するシステムです。専用アプリまたは電話で予約し、乗車場所と降車場所を自分で設定でき、クレジットカードでキャッシュレス決済も行うことができます。



茅野市 提供

バスより少し高い・タクシーより安い乗車料金で行きたい場所に行くことができる、茅野市の新しい公共交通システムに注目しましょう！

※「のらざあ」：茅野市の方言で「乗ろうよ」という意味があります。  
AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」特設サイト（茅野市公式 HP）  
URL: <https://www.city.chino.lg.jp/site/new-kotsu/>



## ■ テレワーク車両で外部人材の誘致や移住定住を促進します！～伊那市の取組～

伊那市では、移住定住促進策として民間企業と開発した、仕事と宿泊が両立できるテレワーク車両「イブモ」を開発しました。10月から一般向けのモニタープランを開始し、来年1月には本格的に事業を進めていく予定です。

「イブモ」は、マイクロバスをワークオフィス兼キャンピングカーに改装したものであり、ベッド、トイレ、シャワールームをはじめ、インターネット環境が完備されています。そのため、テレワーク環境を通して、伊那市での多様な働き方・暮らし方の価値提案を行う伊那市らしいワーケーションスタイルを提案することができます。



伊那市 提供

伊那市では、「イブモ」の導入で外部人材の受け入れ、移住・定住を見据えた関係人口の増加、地元企業の活性化につなげていく予定です。

## ■ 移住体験住宅を整備し、駒ヶ根の魅力を体験！～駒ヶ根市の取組～

駒ヶ根市では、「こまがねリアル体験住宅」を整備し、貸出を開始しました。住宅には、家電製品、調理器具等が備え付けられ、1週間から1ヶ月の間利用することができます。

11月末まで予約でいっぱい状況であり、多くの人に駒ヶ根市の魅力を伝えられる良いきっかけとなっています。今後、移住の効果的な推進を図るため、体験住宅利用者と地域住民が交流できる仕組みを構築していきます。

## ■ 構想策定に向け、理事者と一般の方との懇談会を実施しました！

### ～下伊那北部総合事務組合の取組～

下伊那北部総合事務組合では、「リニアを見据えた北部まちづくり構想」（案）の策定に向け、令和4年7月25日、28日、8月3日の3回、5町村の理事者とそれぞれテーマに沿う地域住民との懇談会を開催しました。下伊那北部地域が「住んで楽しい・遊んで楽しい地域」の実現に向けて、様々な意見を伺うことができました。

今回の懇談会で挙げられた意見を踏まえ、年内を目途に本構想を策定し、リニア開業に向け、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

## ■ 路線バスのモデルコースを提案し、利用促進へ！～高森町の取組～

高森町では、町内を走行している路線バスについて、より幅広い層から利用してもらえよう、「高森バスさんぽ」と題してモデルコースを提案。多くの方に利用を呼びかけました。

今回は、主に夏休み中の学生向けに、路線バスを使った半日～1日楽しめるコースを提案。バスの利用促進だけでなく、地元の魅力を知ってもらうきっかけづくりを目指し、一部掲載店舗の協賛により、バス利用者への特典を設けるなど連携した取り組みを行いました。

今後も地域に密着した様々なモデルコースを提案し、幅広い層の方々にバスを利用していただけよう、取り組みを進めていきます。

URL: <https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/soshiki/4/2/3/1/6789.html>



## ■ 「昼神温泉郷と日本一の星空」をブランディング！～阿智村の取組～

阿智村は、昼神温泉や日本一の星空が見られる地域のブランディング向上のため、観光庁の補助事業を利用して地域の事業者とともに宿泊施設の改修や廃屋撤去を進めています。

この事業を通じ、昼神温泉及び日本一の星空のブランディング向上、高付加価値化を進めるきっかけとしていきます。

また、スタービレッジ阿智誘客促進協議会では、10月8日から11月6日まで、富士見台高原ロープウェイヘブンスそのはらにて『天空の楽園 雲海ハーバー』を開催します。15分ほどのゴンドラと展望台リフトを乗り継ぎ、標高1600mの展望デッキへ行くと、南アルプスまで一面に広がる雲海の眺望を味わうことができます。期間限定の絶景を堪能してみましよう！



スタービレッジ阿智誘客促進協議会 提供

## ■名木を撮影してインスタへ投稿しよう！～下伊那郡西部3村の取組～

阿智村、平谷村、根羽村の下伊那郡西部3か村地域振興協議会では、協議会が展開する「木になるカード」に収録されている10本の木のいずれかを撮影しInstagramへ応募する「木になるカードフォトコンテスト」を実施しています。

Instagram以外にも3村役場へ手持ち持参での応募も受け付けており、応募締切は10月31日なので、投稿がこれからの方はQRコードから詳細をチェックしてください！



## ■「日本で最も美しい村」連合のつながりで新たな魅力を発信！～木曽町の取組～

木曽町では、「日本で最も美しい村」連合のつながりを生かして魅力発信活動を進めています。9月上旬、連合加盟村の沖縄県多良間村と交換物産展を実施し、お互いのPRを行いました。交流の中で、木曽町の洋菓子店「茶房松島」さんに協力いただき、多良間黒糖と木曽町のみそを使用したフィナンシェを開発しました。お互いの特産品を引き立たせる商品が生まれ、新しい化学反応が生まれました。



今後も「日本で最も美しい村」つながりを活かし木曽町を盛り上げていきます。 (株)市民タイムス 提供

## ■南木曽の魅力が詰まったPR動画がYoutubeにてご覧いただけます！～南木曽町の取組～

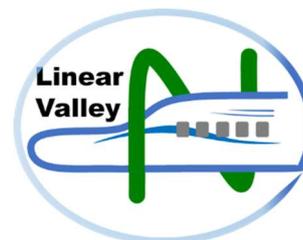
南木曽町地域おこし協力隊の清家（せいけ）さんが作成した町のPR動画が公開されています。4分ほどの動画のなかには、四季を彩る町内の風景や農作業の風景だけでなく、自然豊かな音を聴くことができ、まるでその場にいるような感覚を味わうことができます。

この動画は、町観光協会観光案内所で放映されているほか、以下のURLから視聴することができます。是非ご覧ください！

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=rG5r2wefOfI>

県リニア整備推進局では、リニア中央新幹線開業に向け、気運の醸成を図るため、資料などへ使用できる右のロゴマークを作成しました。

今後、資料に貼付するなど積極的に使用していくほか、伊那谷リニアバレーNEWSを読まれる皆様にも、使用していただきたいと思います。利用をご希望の場合、担当までご連絡ください。(連絡先:026-235-7016)



©長野県